

新年を迎えて

一陽来復



みなさん、新年あけましておめでとうございます。今年の幕開けをこれまで経験したことがない状態で迎えられている方も多いのではないかと思います。心機一転、今年もみんなで元気に、明るい年にして行きましょう。

さて、昨年(2020年)は世界中が新型コロナウイルス感染症の影響により、百年に一度とも言われる未曾有の経験をしました。空手の大会や行事がほとんど開催できなかったことはもちろん、私たちの暮らしや仕事・学業も大変不自由な状況に陥りました。そんななか、錬聖会では、昨年11月1日、「一致団結して頑張る」ことを誓った決起大会を開催したことは記憶に新しいところです。

さて、今年の干支は『辛丑(かのと・うし)』。十干(じっかん)の「辛」は、季節でいえば晩秋の頃、植物の実が地面に落ち、次の生命を宿す準備に入っている状態を意味しています。一方、十二支(じゅうにし)の「丑」は、発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を破ろうとしている状態を表しているそうです。ここから見える2021年は、『**辛さを乗り越えて、新たな時代へと向かう転換期**』ではないでしょうか。昨年11月の決起大会にてお配りしたキーホルダーに書き込まれている「**一陽来復(※)**」という言葉に通じる干支の巡りあわせだと言えます。

※一陽来復とは、「悪いことのアトには必ず良いことが訪れる」ということを意味する熟語です。

時代は大きな転換期を迎えています。この転換による変化の先を見誤らないように、そして新たな時(ニューノーマルの社会)でもさらに元気に、明るく、楽しく、活躍できるように、空手の道を通じて、今年も一年、一致団結して頑張りましょう。

2021年 1月1日



2020年11月1日 錬聖会決起大会
於)奈良市西部生涯スポーツセンター



日本空手道錬聖会
会長 森 拓生